

## 10月・11月の振り返り

### 『住まいのプラットフォーム相談窓口』

10月	稼働日数	22日	電話相談	11件	窓口相談	0件	現地相談	0件
11月	稼働日数	21日	電話相談	2件	窓口相談	1件	現地相談	1件

高齢者夫婦である相談者宅屋根からの隣地への落雪に対する対応策についてのご相談の他、高齢者向け賃貸住宅についての問い合わせなどがありました。(運上)

### 『コーディネート事業』

10月	稼働日数	22日	新規0件	継続1件
11月	稼働日数	21日	新規1件	継続1件

先月現地調査を行ったアパートの補修に関するコーディネート件について、工事を行いました。引き続きメンテナンスの為の見積もり等について相談を受けており、見積、検討会等を進めていきます。(運上)

### 『これからの住まい～高齢化への対応～』セミナー開催報告(第3回目。全3回)

テーマ「魅力あふれる多家族世帯～集まって暮らす楽しさ・快適さ～」

日時：10月6日(土) 10:00～11:30

会場：もみじ台管理センター大会議室

講師：山本明恵氏(恵和建築設計事務所代表)

主催：(財)札幌市住宅管理公社、NPO法人さっぽろ住まいのプラットフォーム

参加者：40名

もみじ台地区の住民の方を対象に、札幌市住宅管理公社と共催で開催される「これからの住まい - 高齢化への対応(全3回)」の第3回目となります今回のセミナーは、「魅力あふれる多家族世帯」と題して、「誰と暮らす?」「どこで暮らす?」「どのように暮らす?」を小テーマとし、戸建住宅の場合、共同住宅の場合、両方について楽しく暮らすポイントを、さまざまなパターンを例に出しながら分かりやすくご説明しました。

また、これからのシニアの住まいの要件として、

- ・ もしもの時の対応
- ・ バリアフリー
- ・ 広さと健康
- ・ 生活支援サービス
- ・ 地域や仲間とのコミュニケーション

などがあげられ、これからの住まいについてのアドバイスをしました。

アンケートの結果では「期待通り」、もしくは「期待以上のセミナーだった」と回答下さった方はアンケート回答者全体の87%となり、「同居の事例が参考になった」等のお言葉を頂きました。

今回が最終回となった「これからの住まい - 高齢化への対応(全3回)」は延べ120名の方にご参加頂きました。3回全てのセミナーに参加された方もおり、アンケートには「またセミナーに参加したい」、「参考になった。もっと多くの事例が見たい」と回答下さるなど、今回のテーマへの関心は高く、参加者の皆様も熱心に講義を聞いていらっしゃいました。(山本)



## 『「住まい力」UPのためのさっぽろ福祉機器体験展 I N北区』開催報告

日時：体験展示...11月17日(土)10:00~16:00

市民セミナー...11月17日(土)10:30~12:00

専門家向けセミナー...11月16日(金)18:30~20:30

会場：北区民センター ホール、研修室

参加者：約190名



11月17日に開催された『「住まい力」UPのためのさっぽろ福祉機器体験展 I N北区』にはセミナー参加者を含め、約190名の方が来場されました。

展示会・体験展(展示スペース)

センターホールでは、手摺、福祉機器、自助具・義肢装具の各展示を行いました。

各展示では参加者は資料とともに実物を見、触れることができ、用途に適した手摺等機器の選び方などについて知ることができたと思います。また、福祉機器展示では、普段はあまり多くをみることでできない様々な種類の車椅子や介護ベッドが並び、参加者がそれぞれの違いについてコーナースタッフに質問するといった光景も見られ、関心の高さを感じました。

ベッドサイドにつける移動用リフト体験では、実際に参加者がリフトに乗り、車椅子からベッドに移動する体験をされ、リフトの利便性を実感されていました。介助の軽減対策としての一つの方法である、との意見もありました。

展示会内イベント

訪問入浴デモンストレーション



高齢者が楽しめるパソコン教室

マイクロソフト株式会社の楠原史子氏を迎え、シニアの方がパソコンライフを楽しむためのパソコン教室を行いました。年賀状の作り方など、すぐに活用できる内容について、楠原氏が30名の参加者に実際にパソコンに触れて頂きながら丁寧に操作の仕方などを講義していました。講義が終わってからも質問が多く、なかなかパソコンのそばを離れない人もいたほどでした。高齢者の方がパソコン操作や言葉の意味、楽しみ方について学ぶ良い機会になったと思います。これを機にパソコンに挑戦し、楽しんでほしいと思います。

日頃なかなか見る事の少ない訪問入浴の実施は関心呼び、多くの方が熱心に見入っていました。32名の参加者からは、入浴介助は大変だが、思ったよりスムーズにできるといった感想を頂き、入浴機器やデモの様子を撮ったり、質問をするといった光景がみられるなど、とても盛況でした。高齢の家族を抱えている人にとっては、デモンストレーションはより効果的で今後も機会があれば継続していきたいと感じました。



医療の目から見た足裏診断！スイスコンフォート



自分の足に合ったインソール(靴の中敷)を作ってくれるとのイベントだったこともあり、とても関心が高く、開場と共に多くの方が足裏診断を受けていました。

参加者からは「最近では高齢者に適した靴もいろいろあるが、本当に合っているのかは疑問だ」という感想があがるなど、自分らしく自由に歩くために靴の中敷の重要性を実感した人も多く、珍しさで体験測定したい人で人気がありました。

## 市民セミナー

テーマ：「家庭内事故防止で安心・安全な暮らし」

講師：山本明恵氏

(SSPF理事長 (社)北海道建築士会札幌支部)

参加者：26名

最近の家庭内事故の多発を受けて開催された本セミナーでは、まず講師の山本氏より、数年前から高齢者の住まいが変化し、札幌市においては高齢者のみや、単身(一人暮らし)世帯の増加が見られること。人生第二のライフステージをどこで、誰と、どのように迎えるのかを考えたとき、在宅で暮らしたい希望が多い中、思わぬ事故にあうこともある、というお話がありました。

その後、高齢期を前に準備しておくことについて、家庭内事故はどこで、どのように起こるのか、その原因と対応策を日常の生活から分かりやすいご説明を頂きました。

また、山本氏は「北海道の住宅の特徴(積雪、寒冷地)を考えることと、自分らしく暮らす住まいの見直しが必要」と述べられ、部分的解消と暮らし全体の基本的考え方についてアドバイスされました。

加齢による身体的、精神的な低下を知り、安心して安全な住まいづくりをする。住まいという器(ハード)と地域住民とのコミュニケーションや福祉のサービスを上手に取り入れて(ソフト)より豊かな暮らしに結びつける、という山本氏の提案に、真駒内から参加のご夫婦をはじめ、参加者は最後まで興味深く聴き入っていました。



## スキルアップセミナー(専門家セミナー)

テーマ：実践「住宅改修」～建築職からみた福祉～「まずは手摺取付から」

講師：東道尾氏(一級建築士事務所「自然」)

参加者：28名



介護、福祉の専門家の方を対象に建築の基本を理解し、介護保険に係わる住宅改修の実務に活かすことを目的として開催された本セミナーでは、まず、開催介護保険の住宅改修で一番多い手摺の取り付けについて、講師の東氏が最新の情報をお話されました。

次いで、使用者本人と介護者や家族にとって取り付ける位置や材質、取り付け方法が異なること、失敗しないための手摺の選択や住宅の構造についてのお話と、より安全な手摺の取付方法

と工事費のめやすについてアドバイスがありました。

その後、東氏が実際に関わった改修事例を基にした様々なケースの分かりやすい説明。また、手摺実物を手にとって材質、触感を感じてもらったり、実際に手摺を設置する際の見積書を作成してもらい、費用がどのくらいかかるのかを理解する、といった実践に基づいた講義もあり、参加者からは実例や実践など、具体的で今後の参考になったとの感想を頂きました。高齢者や障害を持った人の住宅改修はその人の今後の生活づくりに重要な役割があり、関係職種の協力や連携が大切で「手摺一本で暮らしは変わる」ことを学ぶ手助けとなったのではないかと思います。

## イベント・お知らせ

1月に市民セミナーを開催します。

テーマ：家庭内での転倒危険性と事故防止

日時：平成20年1月11日(金)

講師：山本明恵(恵和建築設計事務所代表、(社)北海道建築士会札幌支部 SSPF理事長)

会場等、詳しい内容につきましてはHP等にてお知らせ致します。

『高齢世帯の居住継続及び住み替え支援に関するモデル事業』プロジェクト（H&C財団助成事業）

高齢期の「在宅での居住継続（及び住み替え）」を行う住民に対して、専門家ネットワークを活かした、ハード・ソフトを包括した居住支援の為にモデル事業がスタートし、「高齢者の住まい」に関わる 専門家による検討を進めています。

第7回福祉住環境ネットワーク会議全国会議（盛岡・12月1日）でSSPF活動の紹介とともに、本調査の概要を事例報告しました。12月に、もみじ台地区でニーズ本調査（配布数200件）を実施しました。現在集計分析を北海学園大学岡本研究室で進めています。

また、冬季における、高齢者向け賃貸住宅のモニタリングについても準備を進めます。（辻井）

各プロジェクトの動向

企画運営委員会	セミナー受託	学校法人桑園学園のセミナー（後期）を受託しました。 毎週木曜日 色彩学入門講座 秤優子氏（運上）
	コーディネーターセミナー	11月17日（土）にスキルアップセミナー（北区民センター）を開催しました。詳細は前記をご覧ください。（運上）
相談事業運営委員会	相談窓口	相談件数については前記の通りです。（運上）
	コーディネート事業	件数については前記の通りです。（運上）
総務委員会		札幌市とパートナーシップ協定を締結しました。（12月19日）（事務局）
普及啓発委員会	市民セミナー	10月6日に（財）札幌市住宅管理公社と共催の「これからの住まい～高齢化への対応～」全3回の第3回目を厚別区もみじ台にて開催致しました。詳細につきましては上記をご覧ください。 また、11月17日（土）に北区民センターにて開催の「住まい力UPのためのさっぽろ福祉機器体験展」にて市民セミナー「家庭内事故防止で安心・安全な暮らし」とスウェーデン『実践「住宅改修」』を開催しました。詳細については上記をご覧ください。
	ホームページ	過去の活動報告や今後の予定など様々な情報を随時更新しております。是非ご覧ください。11月17日開催の「住まい力UPのためのさっぽろ福祉機器体験展」開催報告書もUPしております。（岡田）
	高齢者の住まい	
	高齢世帯の居住継続及び住み替え支援に関するモデル事業	第7回福祉住環境ネットワーク会議全国会議（盛岡・12月1日）でSSPF活動の紹介とともに、本調査の概要を事例報告しました。詳しくは上記をご覧ください。（辻井）



石油・灯油等の値段の高騰で、北国に暮らす私達にとっては厳しい冬と感じています。海外で普及されつつある、もしくは実用化されつつある灯油以外の暖房設備等の研究・普及が、早く日本でも進んでほしいと思う今日この頃です。

さて、本年も残すところわずかとなりました。一年間PF通信をご覧下さった皆様、ありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。（佐々木）

NPO 法人さっぽろ住まいのプラットフォーム

相談窓口 受付時間 平日（月～金）9：00～17：00  
祝日はお休みです。



年末年始のお休み 平成19年12月29日～平成20年1月6日まで

住所 〒060-0001  
札幌市中央区北1条西5丁目3番北一条ビル5階  
さっぽろチャレンジオフィス内  
電話 011-222-9800  
<http://www.sapporo-sumai.or.jp>

